

広島港五日市地区港湾緑地整備利用計画

●緑地の基本方針

緑地の対象範囲

広島港五日市地区
面積：約33.3ha(緑地部分)
所有者：広島県
臨港地区：修景厚生港区



緑地のコンセプト

当該緑地は、臨海部の33haという貴重かつ県内最大の港湾緑地であるとともに、産業廃棄物最終処分場跡地としての活用やミチゲーションによる全国有数の人工干潟の造成等、環境や生態系の保全に配慮し創出するなど、様々な要請に対応し造成した緑地である。

また緑地の利用については、広く多くの人々がレクリエーションやスポーツ等を楽しみ、憩い触れ合える賑わいのある空間となるとともに、災害時には復旧・復興の支援拠点としての役割を担う必要がある。

これらを踏まえ、様々なニーズに対応できる進化する港の緑地空間を計画する。

「地域とともに成長し、地域を見守る海辺の賑わいパーク」

緑地の基本方針と導入施設

緑地の位置付けや利用者のニーズ、検討会においては
周辺の公園に不足している機能や将来不足する恐れがある機能、
生物多様性の場、子供・高齢者が増えているという機会などの
現状を踏まえ、
「賑わい・交流」「憩い」「スポーツ」「環境保護活用」「防災」
の5つの機能と、それぞれの機能に対する基本方針
および導入施設を整理した。



機能	基本方針	導入施設	主なターゲット
賑わい・交流	コミュニティ×フェスティバル パーク レクリエーションやイベント等を楽しむ空間	多目的広場、デイキャンプ場、ドッグラン、駐車場(駐輪場)	地域住民・企業 観光客
憩い	リラックス パーク 自然を感じながら、ゆっくり過ごすことが出来る空間	多目的広場、ウォーキング(ランニング)コース、飲食・物販等	地域住民・企業
スポーツ	アクティブ×レクリエーション パーク 大会から日常的な利用までスポーツを楽しめる空間	野球場、多目的グラウンド(ソフトボール場・サッカー場)、ホッケー場、テニスコート、パラスポーツ他	スポーツ参加者
環境保護活用	エコ×サステナブル パーク 環境・生物多様性に関する意識を醸成する空間	野鳥園、観察小屋・飲食	環境・生物学習参加者 地域住民
防災	ポウサイ パーク 災害発生時には救護活動などの拠点	大規模オープンスペース(多目的広場、多目的グラウンド)	—

●将来イメージ案【本格利用時】(沈下収束後：概ね10年を想定)

・人工干潟に面するエリアに野鳥園と一体となった緑地を配置すると共に、オープンスペース(野球場・グラウンド・広場等)を配置し、災害時に防災拠点として活用する。



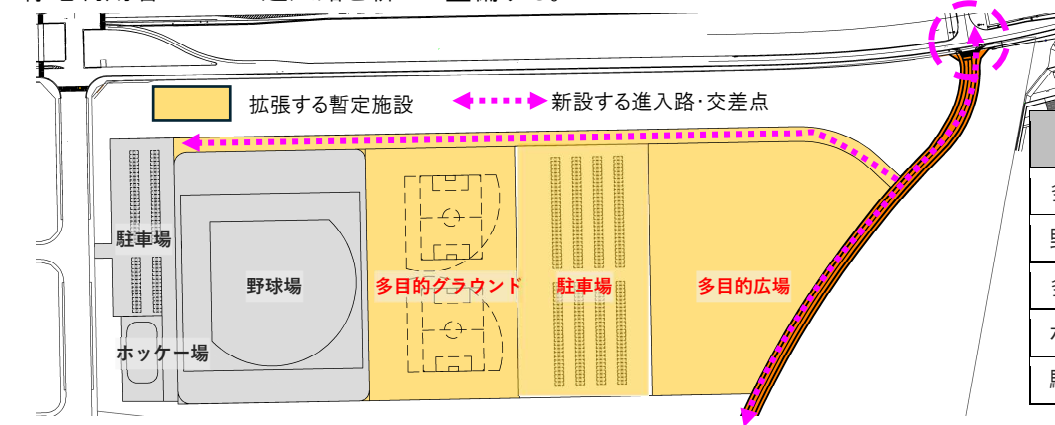
施設規模

主な施設	規模
多目的広場	約3ha
デイキャンプ場	約0.2ha
野球場	1面
多目的グラウンド	4面
テニスコート	4面
ホッケー場	1面
駐車場	約650台
緑地	約10ha

※ただし導入施設は(沈下収束まで時間を要するため)本格的な整備段階でニーズ等を再度把握し適宜見直しを行う。

●暫定施設整備案【暫定利用時】(沈下収束まで)

・沈下状況等を踏まえ、暫定施設を計画する。(沈下の影響が小さい施設から整備)
・緑地利用者のための進入路を新たに整備する。



施設規模

主な施設	規模
多目的広場	約3ha
野球場【既設】	1面
多目的グラウンド	2面
ホッケー場【既設】	1面
駐車場	約310台

●管理運営手法

【本格利用時】

港湾管理者による指定管理者制度やみなと緑地 PPP を含む管理運営など、様々な手法を比較しながら、最も適した運営方法となるように今後も引き続き検討を進める。

【暫定利用時】

管理運営を行うに当たり、利用団体との間で日常的な維持管理に関するルールを作成する。